

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
名古屋大賞典	2019/3/14	JpnIII	名古屋	1900m	ハイペース	良	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	リョーシンヒナタ	牝6	52	宮下	キンシャサノキセキ	サンデー系	テイエムオペラオー	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
2	2	ヒラボクラターシュ	牡4	55	福永	キンシャサノキセキ	サンデー系	ワイルドラッシュ	アイスカベイド系	A	A	B	B	A	B	◎	
3	3	ラモントルドール	牝5	52	加藤	ゴールドアリュール	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	D	D	D	D	D		
4	4	テルペリオン	牡5	54	松若	フリオーソ	ロベルト系	ダンスインザダーク	サンデー系	B	B	B	B	B	B	△2	
5	5	エスタシオン	セ5	54	丸野	ネオユニヴァース	サンデー系	ウォーニング	ミスプロ系	D	B	D	D	D	D		
	6	ブランニュー	牡7	54	岡部	ブライアンズタイム	ロベルト系	メジロマックイーン	パーソロン系	D	B	D	D	D	D		
6	7	キクノルア	牡5	54	浜中	カネヒキリ	サンデー系	パラダイスクリーク	ノーザン系	B	B	B	A	B	B	△1	
	8	マイタイザン	牡6	54	杉浦	ファスリエフ	ノーザン系	ダンスインザダーク	サンデー系	C	B	B	C	C	C		
7	9	アナザートウルース	セ5	54	大野	アイルハヴアナザー	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	B	B	B	A	B	A	▲	
	10	カツゲキライデン	牡8	54	木之前	ノボジャック	ノーザン系	ホスピタリティ	ハイペリオン系	D	D	D	D	D	D		
8	11	サザンオールスター	牡5	54	大畑	フリオーソ	ロベルト系	キングカメハメハ	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
	12	グリム	牡4	55	武豊	ゼンノロブロイ	サンデー系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	A	A	B	B	A	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
キクノ アナザ マイタ グリム テルペ ヒラボ カツゲ ブラン サザン エスタ ラモン リョー	<p>J R A 勢が粒ぞろいの今年の名古屋大賞典。メンバーを見渡すと、ヒラボクラターシュ…直近5走4コーナー2番手以内、テルペリオン…前走仁川ステークスを4コーナー先頭から押し切り、キクノルア…2走前招福ステークスを逃げ切り、アナザートウルース…逃げて2戦2勝、グリム…ダートグレード2勝はともに逃げ切りと前に行きたい馬がズラッとそろった。加えて地方勢で最有力のマイタイザンは逃げ一手（逃げ宣言）。序盤から激しいポジション争いが繰り広げられるのは間違いなく、いくら前有利の名古屋とはいえ、序盤の隊列＝結果のようなレースにはならないだろう。純粋な力比べになると判断したい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はヒラボクラターシュがダートグレード連勝を決める。正直、J R A 勢の中ではポジションを最も落としそうだが、テルペリオン、マイタイザン、キクノルア、アナザートウルースらは前でやり合い、何頭かは勝手に脱落しそうな雰囲気。それらの馬に付き合わなければ、2周目向上面からは自然とポジションを押し上げることができるだろう。（以下省略）</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	リョーシンヒナタ		名古屋のA 1の特別戦でも勝ち切れていない馬。ダートグレードでは荷が重い。		
2	2	ヒラボクラターシュ	◎	正直、JRA勢の中ではポジションを最も落としそうだが、テルペリオン、マイタイザン、キクノルア、アナザートウルースらは前でやり合い、何頭かは勝手に脱落しそうな雰囲気。それらの馬に付き合わなければ、2周目向上面からは自然とポジションを押し上げることができるだろう。		
3	3	ラモントルドール		2走連続でダートグレードに出走しているが、ダントツの最下位に敗退。ここも回ってくるだけで終わるだろう。		
4	4	テルペリオン	△2	前走仁川ステークスは展開に恵まれたとはいえ、完勝といえる内容。成長力が豊かなフリオソ産駒。ここに来て本格化しており、一気にダートグレードを勝ち上がっても不思議ではない。ただ展開を考えるとやや厳しい立ち回りを強いられそうな気はする。		
5	5	エスタシオン		4走前の地元重賞・新春杯では5着に敗退。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
	6	ブランニュー		前走梅見月杯では勝ち馬マイタイザンに完敗といえる2着。今回はマイタイザンでさえ馬券圏内に入れるか怪しく、本馬が上位争いするのは難しい。		
6	7	キクノルア	△1	前走仁川ステークスで控えて敗退。鞍上の浜中騎手は控えたことが裏目に出たという意識があるはずで、今回は強気に乗ってきそう。本馬より内に徹底先行型がないので、鞍上が行く気ならハナを主張できそう。行き切った時は怖い。		
	8	マイタイザン		地方馬で上位争いするとすれば、本馬しかいないが、3走前の東海菊花賞ではカツゲキキトキトに完敗。そのカツゲキキトキトでさえ、現在はダートグレードで入着が精いっぱい。逃げ一手で目標になることを考えても厳しい戦いを強いられるのでは。		
7	9	アナザートウルース	▲	仮にマイタイザンが逃げの手を打てば、本馬は外目2番手の位置を取りやすく、その形なら展開には恵まれそう。これまで逃げて2戦2勝。早め早めの競馬ができれば、最後までしぶとく脚を使える。きょうだいにサウンドトゥルー、ルールソヴァールらがいる晩成型。ここで素質開花の可能性は十分にある。		
	10	カツゲキライデン		地元のA 1でも大敗が続いている現状。ここは参加するだけだろう。距離も長い。		
8	11	サザンオールスター		前走は地元馬相手に大敗。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
	12	グリム	○	前走名古屋グランプリは目標になった分というよりも結果的に2500mを走り切るスタミナを兼ね備えていなかった感じ。元々は芝1200mでデビューし、ダート1400~1600mで実績を積み上げた馬。今回の2500m→1900mの距離短縮はプラスに捉えていいだろう。		